

令和4年度放射線安全取扱部会年次大会 (第63回放射線管理研修会)のお知らせ(3)

令和4年度放射線安全取扱部会年次大会実行委員会

令和4年度放射線安全取扱部会年次大会は北海道支部が担当します。

本大会の概要を以下に記載いたします。

年次大会概要

- 開催日：令和4年10月13日(木)、14日(金)
- 会場：Web開催
- テーマ：こんな今だから..主任者は安全管理を見直す

参加費	事前登録	当日登録 ^{*1}
一般	6,000円	6,000円
学生会員 ^{*2}	2,000円	—

※1 カード払いのみ大会当日登録可能。

※2 学生会員は、入会にあたり年会費として1,000円を申し受けます。

○ご承諾いただいた講演(質疑応答は除く)はポスター発表を含め大会終了後に1週間ほどオンデマンド配信します。参加登録者限定で視聴いただけます。当日業務等でご参加できない方もどうぞ参加登録ください。

プログラムのハイライト

【1日目】

●特別講演1「最近の放射線安全行政の動向について」

(10月13日(木) 11:00~12:00)

いよいよ放射線測定の信頼性確保の義務化に関し、令和5年10月の施行が迫っています。最新の放射線規制の動向を原子力規制庁の担当官の方に解説いただきます。質疑応答も、皆様の疑問解決に直結しますので、リアルタイムでの活発なご討論ご議論をいただきたいと思ひます。

●シンポジウム1「放射線測定器の精度向上と校正について」

(10月13日(木) 13:10~14:50)

場所と人の線量の算定に必須な放射線測定器に関しご講演いただきます。法令改正に伴う点検・校正の話題について、メーカーである千代田テクノル、富士電機、日本レイテックの3社からご講演いただきます。場所や試料、人と各々得意とされる測定分野での機器の点検と校正につき、高い知識とご経験をもとに貴重なご講演をいただけると思ひます。

●シンポジウム2-1「ポスター発表1」

(10月13日(木) 15:00~17:00)

ポスター発表として実施してきた放射線安全管理に係る事例紹介等を、オンライン大会であることから従前のポスター発表を取り込んだ口頭発表として2日間に分けて行います。ポスターの掲示は、会期中2日間随時閲覧可能とし、ポスター賞の授与も計画しています。

- ・施設管理(従事者登録の一元管理等)
- ・教育訓練(VR等)
- ・コロナ対応

【2日目】

●シンポジウム3「放射線管理のDX」

(10月14日(金) 9:30~11:00)

企画専門委員会企画として、放射線管理室のリモートワーク体制、記録・記帳のデジタル化、教育訓練のオンライン化等について、情報共有と理解を深める講演をいただきます。

●特別講演2「北海道大学電子加速器駆動中性子実験施設の活動と放射線管理（仮題）」

（10月14日（金） 11：10～12：10）

北海道大学大学院工学研究院の加美山隆氏に、中性子によるイメージングを中心とした研究と実験施設の放射化も含めいかに放射線管理され工夫されているかご講演いただきます。宇宙からの中性子線を含む宇宙放射線による半導体のソフトウェアの防止に関しても先端の研究を進められています。中性子を中心として展開されてきた様々な研究と貴重な成果をご披露いただきます。

●特別講演3「泊発電所の放射線管理と北海道胆振東部地震におけるブラックアウト対応（仮題）」

（10月14日（金） 13：10～14：10）

北海道電力の松田茂樹氏に「泊発電所の放射線管理と北海道胆振東部地震におけるブラックアウト対応（仮題）」として、大規模停電が発生した原因から泊原子力発電所での放射線管理までご講演いただきます。このような広域の長時間停電は初めての経験です。最近の液化天然ガスの供給懸念も加わり、平時の現在でも酷暑や厳冬期には電力不足が叫ばれています。重要な社会インフラである電気の供給は最重要課題と言えます。社会に大きな広がりを持つ重い話題であり貴重なお話をご講演いただきます。

●シンポジウム2-2「ポスター発表2」

（10月14日（金） 14：20～16：00）

ポスター発表として実施してきた放射線安全管理に係る事例紹介等を、オンライン大会であることから口頭発表で実施します。部会の報告事項等（分科会、専門委員会、支部等）も含みます。

・線源管理

- ・施設管理
- ・被ばく管理
- ・分科会
- ・委員会・その他

●相談コーナー

10月13日（木） 12：00～13：00

放射線管理業務における疑問やお困りごと等について、事前申込制でご相談をお受けいたします。オンラインで話しづらい面があるかもしれませんが、気兼ねなくご相談ください。

●機器展示

年次大会サイトのトップページに放射線関連サービス会社、製品メーカーによるバナー広告等を掲載します。休憩時間には広告動画を上映しますので、皆様ご覧ください。各企業の最新情報を知ることができる貴重な機会です。

●Web交流会

10月13日（木） 17：10～18：40

参加者が一堂に会し、情報交換を行うことができます。ブレイクアウトルームを利用して、特定のグループ（各支部、分科会等）での利用も計画中です。北海道を感じていただけるよう計画を進めています。

【連絡先】

○放射線安全取扱部会事務局

日本アイソトープ協会 学術課

☎ 113-8941 東京都文京区本駒込 2-28-45

☎ 03-5395-8081 FAX 03-5395-8053

E-mail nenjitaikai@jrias.or.jp

令和4年度放射線安全取扱部会年次大会（第63回放射線管理研修会）

日 時：令和4年10月13日(木)9:30～14日(金)16:30

会 場：Web開催

交流会：Web開催

プ ロ グ ラ ム

1日目 10月13日(木)

9:30～10:20 (50)	開会・部会総会
10:20～10:50 (30)	部会表彰
11:00～12:00 (60)	特別講演1 「最近の放射線安全行政の動向について」 深野重男氏（原子力規制庁） 座長 北浦廣剛氏（北海道医療大学）
12:00～13:10 (70)	昼食休憩（相談コーナー）
13:10～14:50 (100)	シンポジウム1 「放射線測定器の精度向上と校正について」 (1) 法令改正に伴う測定器の校正について 西尾貴史氏（(株)千代田テクノル） (2) RI施設における「放射線監視システム」の点検校正について 水野裕元氏（富士電機(株)） (3) 放射線測定器の点検、校正について（測定の信頼性確保への対応）（仮題） 島元武志氏（日本レイテック(株)） 座長 桧垣正吾氏（東京大学）
14:50～15:00 (10)	休憩
15:00～17:00 (120)	シンポジウム2-1 「ポスター発表1」 ・施設管理（従事者登録の一元管理等） ・教育訓練（VR等） ・コロナ対応 座長 安井博宣氏（北海道大学）
17:00～17:10 (10)	休憩
17:10～18:40 (90)	Web交流会

2日目 10月14日(金)

9:30~11:00 (90)	<p>シンポジウム 3</p> <p>「放射線管理のDX」</p> <p>(1) SPring-8 及び SACLA における放射線業務従事者管理のDX化 石岡 純氏 ((国研) 理化学研究所)</p> <p>(2) 放射線教育訓練のデジタル化の試み～オンデマンド・ライブ・外国語対応～ 田村文香氏 (京都工芸繊維大学)</p> <p>(3) 放射線取扱者個人情報管理のDXに必須となった要件 ～KRUMSの導入事例から～ 角山雄一氏 (京都大学)</p> <p>座長 渡部浩司氏 (東北大学)</p>
11:00~11:10 (10)	休憩
11:10~12:10 (60)	<p>特別講演 2</p> <p>「北海道大学電子加速器駆動中性子実験施設の活動と放射線管理(仮題)」 加美山 隆氏 (北海道大学)</p> <p>座長 久下裕司氏 (北海道大学)</p>
12:10~13:10 (60)	昼食休憩
13:10~14:10 (60)	<p>特別講演 3</p> <p>「泊発電所の放射線管理と北海道胆振東部地震におけるブラックアウト対応(仮題)」 松田茂樹氏 (北海道電力(株))</p> <p>座長 小崎 完氏 (北海道大学)</p>
14:10~14:20 (10)	休憩
14:20~16:00 (100)	<p>シンポジウム 2-2</p> <p>「ポスター発表 2」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・線源管理 ・施設管理 ・被ばく管理 ・分科会 ・委員会 ・その他 <p>座長 吉井勇治氏 (北海道大学)</p>
16:00~16:10 (10)	休憩
16:10~16:30 (20)	<p>大会のまとめ</p> <p>次回大会紹介</p> <p>閉会</p>